

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

「PD-L1 (28-8)〈IHC法〉」 受託開始のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、標記項目の受託準備が整いましたので、取り急ぎご案内致します。

なお、当該項目は免疫組織化学染色(IHC)により、免疫チェックポイント阻害剤の一つであるニボルマブ(オプジーボ[®])投与による治療適否を判断する目的のために、細胞上のPD-L1の発現状態を検査するものです。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

項目コード	50089
検査項目名	PD-L1 (28-8)〈IHC法〉
検体量/保存方法	未染標本スライド5枚(4~5 μ m厚) ^{*1} / 常温 [容器番号: 20]
検査方法	免疫組織化学染色(IHC)
所要日数	6~8日 ^{*2}
検査実施料	2,700点 ^{*3} ([N005] PD-L1 タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製)
判断料	150点(病理判断料)
備考	<p>*1: 非小細胞肺癌を含む組織のホルマリン固定パラフィン包埋ブロックから作製された未染標本スライドをご提出下さい(スライドは剥離防止コートスライドガラスをご使用下さい)。組織標本の固定は10%中性緩衝ホルマリンが推奨されています。スライド枚数は再検査分も含みます。</p> <p>*2: 所要日数には再検査の日数は含まれておりません。また、パラフィンブロックでのご依頼場合は、別途日数がかかります。</p> <p>*3: 抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤の投与の適応を判断することを目的として、免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製を行った場合に、当該抗悪性腫瘍剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定できます。</p>

※PD-L1 (28-8)〈IHC〉検査をご依頼される場合は、病理組織(特殊染色・免疫染色)依頼書をご使用下さい。

受託開始日

● 平成29年3月1日(水)

